

## 2018 年度「研究者の横顔」 殿山 希先生

### 1. 研究者になろうとしたきっかけ

私の専門である東洋医学は、患者様と 1 対 1 で向き合う時間が長い、言わばオーダーメイドの治療です。もっと多くの研究がなされて科学的に効果を明らかにできたら、高度先進医療とは別の形で社会に貢献できると思いました。

### 2. 助成研究の内容紹介

欧米では既にかんケアにマッサージを活用している病院があります。まずはそこでの施術法や対象を調査し、日本の患者様の状況に合わせた治療プロトコルを作成します。

### 3. 2 の将来に繋がる結果予想・目標

日本のマッサージ師は国家資格を持つ専門職ですので、病院内マッサージ室で東西医学の"いいとこ取り"が実現できます。がん治療前・後の患者様の心身の苦痛が和らぐばかりではなく、家族や医療職の人の健康管理にも貢献できます。

### 4. 全国の RFL 関係者に一言

助成金をありがとうございました。大きな研究構想の第 1 歩をしっかりと築くよう努力します。